

「1年間におよぶチャレンジ！ 四国部品」造林事業に2名。

昨年9月、造林事業に対するトライ活動を1か月間実施させていただきました。お盆は空けておりましたが、まだまだ残暑が残る暑い日が続く中で、四国部品の2名は、熱い中では有りませんが根を上げること無く作業を続けてくれました。そうしたことも踏まえ、参加した2名への聞き取りなどを行うと、「是非またチャレンジをしたい」という言葉も有り、今回4月より1年間におよぶ造林活動への年間を通したチャレンジが決定致しました。1年を通した活動となり、より造林事業の厳しさも思い知る形と成るうかと思いますが、林業事業者の皆さんや森林組合、また地域の方の協力などいただいたながら、造林事業の基本を覚えて行けると良いと考えております。当然まだまだ素人の二人です。当たり前のことが出来ないことも多々あり、皆さんにはご心配やご迷惑をお掛けすることも有ると思います。時には厳しく、そして時には優しくご指導いただけるようお願い致します。

氏原 智之



▲四国部品による造林作業風景



◆お問い合わせ：森林の文化創造推進課
◆お電話：0889-65-0811
お気づきの点、ご意見・ご要望がございましたら上記までご連絡ください。



◀仲洞の施工完了風景

造林初現場、施行完了！ 「きりかぶ」4月からJLPへ。

こんにちは、「KIRecub - きりかぶ」代表の下村です。昨年10月より、ゆすはら地域おこし協力隊で学んだ経験を活かす新たなチャレンジとして、勤務活動外で始めた造林事業。ついには3月上旬、仲洞にて初現場の施行が完了しました。地帯から始まり、歩道付け、植付け、獣害対策（単木ネット）など、初めて造林をするメンバーもいる中、手間取りながらも全員で協力し合い、無事に施行が完了できたのは、本当に感慨深いものがあります。

そして令和5年度は「KIRecub」にとって新しいスタートとなります。現在、任意団体で活動を行なっていますが、4月1日からはJLP（有限責任事業組合）として組合化をする予定です。有難いことに、引き続き造林の仕事の依頼はきており、現在は井の谷にて作業を行っています。造林という仕事は木を伐採したところから始まり、新たに森林を造る仕事です。植えて終わりではないので、これから下刈りや間伐作業などを行い、この造林という

仕事に真剣に向き合っていきたいと思えます。町民の皆様、引き続き「KIRecub」の活動を温かく見守って頂けたら幸いです。

「KIRecub - きりかぶ」
代表 下村 智也



▲イロハモミジ・ヤマザクラ・イスノキ（ユスノキ）の苗

▼川上政志さんの伐倒現場の見学



▲谷田会長の現場でチェーンソー体験

参加者と地元林業家の皆様との交流会では、他の自治体での取り組みなどの情報交換や、梶原の林業を盛り上げるためのアイデア出しを行い、主催者側も勉強になる機会となりました。今後もこうした活動を継続していきます。梶原町の林業の担い手確保を進めて参ります。ツアーにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

森林の文化創造推進課 辻本 修丞



第4回森林づくり体験ツアーを実施！ 県外から3名！

第4回森林づくり体験ツアーを2月17日（金）から19日（日）の日程で開催しました。このツアーは梶原町の林業の担い手確保を目的としており、今回は男性3名のご参加をいただきました。この3日間で参加者の皆様には、製材所・ペレット工場の見学、植樹体験や伐倒現場見学、さらにはチェーンソー体験、木造施設の見学をご案内し、林業の川上から川下までを体験していただきました。



▲ペレット工場の見学

植樹体験では後別当で松山榮喜さんに指導していただき、25本の苗木を植えました。参加者にとっては慣れない山での作業でしたが、いい汗をかくて達成感を得ていただきました。また、COMORI会長の谷田真吾さんと副会長の川上政志さんの現場へお邪魔した際には、伐倒作業の見学や、チェーンソーでの玉切り体験を行いました。参加者からは集材の方法や季節による作業内容の違いなど、様々な質問が飛び交い、現場作業のひとつひとつに関心を持って積極的に参加していただきました。

他の活動内容は
こちらでチェック！

YouTube(ユ-チューブ)

Instagram



梶原町森林再生プロジェクト
「ゆすはらチャンネル」

リモリチャンネル

検索

地域おこし協力隊（リモリ所属）



角金 玄



下村 智也



山口 佑貴



長谷川 夏輝



荒木 俊亮

KIRecub - きりかぶ



KIRecub Official